

外部ライターが聞く オー・ジー株式会社の戦略【モビリティ事業】

リサイクル素材と サステナブルな未来

オー・ジー株式会社は、リサイクル素材や高機能コンパウンドを軸に、モビリティ業界への提案を強化している。環境規制の強化や軽量化ニーズが進む中、化学品専門商社としてどのように新たな価値を提供しようとしているのか、同社の執行役員 営業本部東京支店長の西辻氏にモビリティ関連展示会への出展の狙いや意気込みを伺い、その戦略と展望を紐解く（聞き手：落合平八郎広報事務所）



化学品専門商社が切り拓く モビリティ業界の未来

— 事業内容を教えてください

当社は化学品の専門商社として、化学品や樹脂を多岐にわたる分野へ供給しています。特にモビリティ業界では、自動車の内装材に用いられる樹脂製品やシート素材に用いられるウレタン樹脂の提供を長年行っています。この分野では、顧客の品質要件に合わせて素材の改良を続け、耐久性や軽量性の向上を追求しています。また、素材の単なる供給に留まらず、顧客が抱える課題の解決に寄与する「ソリューション提案型商社」としての役割も担っています。



食品廃棄物である卵殻を樹脂原料に配合した合成皮革「eggshellLeather」を開発。その応用は多岐にわたる（写真はそのサンプル例）

— 事業の方向性は？

創業100周年を迎えた2023年を機に、「六方よし」という新たな理念を掲げました。これは、「売り手よし」「買い手よし」「世間よし」に加え、「株主よし」「社員よし」「環境よし」の3つを加えたもので、この理念に基づき、2033年を目標とした長期経営計画を策定し、持続可能な社会に貢献する新たな事業展開に取り組んでいます。

モビリティ展示会へ初出展 とその狙い

— モビリティ関係の展示会に初めて出展する理由と狙いは？

モビリティ業界は、当社が長年取引を続けてきた重要な市場です。特に、近年ではリサイクル素材や軽量化をテーマにした素材の需要が急増しており、当社が持つ技術や製品が業界のニーズに適していると考えています。また、ヨーロッパを中心に自動車内装材への環境規制が強化されている背景もあり、リサイクル樹脂やバイオ由来素材などの紹介を通じて業界への提案を強化していきます。

さらに、モビリティ業界では、自動車メーカーや部品メーカーに直接



（写真上）欧州ELV指令対応のリサイクル樹脂「INNOREEN」。タイ国・Teamplas Chemical社が同国内で回収した廃材により、マテリアルリサイクル樹脂を製造している。また、GRS (Global Recycled Standard) 認証を取得しており、原料廃材のトレーサビリティ（追跡）が可能。（写真下）モビリティ向け機能性コンパウンド。

アプローチすることが重要です。展示会は、これらの幅広いターゲット層とつながりを持ち、当社の技術力や製品の強みを直接訴求する絶好の機会だと考えています。特に今般のモビリティ業界向け展示会の中で、サステナブルな素材に焦点を当てたエリアに出展します。環境に貢献する企業としての姿勢を強調していきたいです。

コンパウンド技術で実現する 新たな可能性

— コンパウンド分野での取り組みについて教えてください

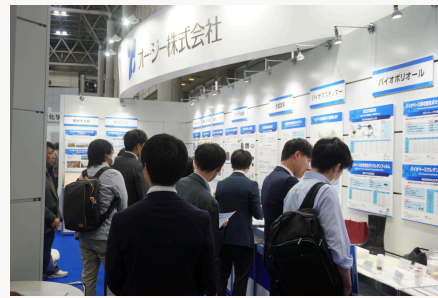
コンパウンド分野は、当社が特に注力している事業の一つです。プラスチックに添加剤やフィラーを混ぜることで、性能を向上させる技術を指します。例えば、耐熱性や難燃性を付与したり、軽量化や強度向上を実現したりすることが可能です。この分野では、当社グループ会社である旭テクノ工業株式会社や山五化成工業株式会社を中心となり、高機能なコンパウンドの製造を担っています。

また、自動車業界では軽量化のニーズが高まっており、金属代替材料としてのプラスチック需要が増加しています。当社のコンパウンド技術は、こうした需要に応えるべく、材料の耐熱性や強度を向上させた製品のご提案が可能です。また、タイ国・Teamplass社と共同出資しているSiam Eco-Kasei社ではリサイクル樹脂を利用したコンパウンドも開発しており、ASEANエリアを中心に難燃性などの機能を付与した製品を自動車部材用の原料として提供しています。

さらに、顧客のニーズに応じたカスタマイズにも対応しています。例えば、電池周りの部材やEV向けの特種素材の開発では、顧客と共同で最適な配合を設計するなど、製品開発の段階から関与しています。こうした取り組みを通じて、モビリティ業界の課題解決に貢献していきたいです。

— 展示会に出品する注目素材は？

今回の展示会では、持続可能性をテーマにした素材を多く紹介しています。特にTeamplass社のリサイクル樹脂をより多くの方に知っ



(写真左) グループ会社の旭テクノ工業や山五化成工業がもつコンパウンド技術を活用することで素材提案から開発、量産までサポートが可能。写真は山五化成工業の高性能押出機。(写真右) 2024年10月に開催した素材業界の展示会では連日、同社の出展ブースに大勢の来場者が訪問。特にリサイクル樹脂には多くの引き合いがあったという。

ていただくこと、さらにはサトウキビ由来のウレタン樹脂や食品廃棄物である卵殻を利用した合成皮革もより多くの方に知っていただきたい製品です。また、天然由来の成分を使用した塩化ビニルレザーも展示します。これらの素材は、環境負荷を減らしつつ高い性能を提供する点で、私たちの「環境よし」の理念を具現化するものです。

持続可能な社会を目指して

— 今後の展望をお聞かせください

長期的な目標として、リサイクル樹脂やバイオ由来素材を中心に、持続可能な素材の提供を拡大していきます。また、コンパウンド技術を駆使して、顧客が抱える課題を解決する製品開発にも注力します。これにより、モビリティ

業界をはじめとする多くの産業に新たな価値を提供していきたいと考えています。最終的には、環境負荷を低減した製品の普及を通じて、より良い社会の実現に貢献したいと考えています。

— ありがとうございました

●お問い合わせ先

オー・ジー株式会社

東京都中央区日本橋本町2-8-7



QRコードを読み込むとお問い合わせフォームが表示されます。



「積極的に提案し、顧客が抱えている課題に対応していきたい」と意気込みを語る西辻氏